

令和元年度第2回まちづくり井戸端座談会 結果概要

<日時>令和2年1月18日(土) 11:00~12:00

<場所>野洲市図書館ホール

<参加者>12名



テーマ1：(仮称)野洲市公文書の管理に関する条例について

参加者からの主な意見 【○市民意見、●市回答】

○企業ではISOを導入しているところが多いが、公共ではしないのか。

→●環境で一時ISOを取得していたが、一定のレベルに達したため、外部の認証取得は止めた。企業ではISOが一つのブランドとなり取引に役立ったりするが、公では経費をかけて認証を取得する意味はない。それよりは条例により規制することとした。

○現在は議会、教育部門等、それぞれに文書の保存期間等異なるのか。

→●異なっているが、以前の判断に基づいているため問題がある。残すべきものが残っていなかったり、残す必要のないものが膨大にあり倉庫を圧迫したりしている。何を残すのか、いつまで残すかのルールを市民参加で作るという地味だが新しい試みである。

テーマ2：(仮称)野洲しみどりの基本計画について

参加者からの主な意見 【○市民意見、●市回答】

○吉川の公園は県の公園か。

→●湖岸緑地という県営の公園である。休日には無料キャンプ場となっており、利用者のごみ集積所にごみを捨てに来るなど、地元の方が困っておられる。

●今まで他市と比べて公園の整備状況は非常に悪い状態であった。令和3年からの都市計画税を財源とし、やっと都市公園の整備に着手することができる。3、4haくらいは公園として確保できると考えている。均一にアクセスできる場所がよいと考えており、意見をいただき最終決定したい。

テーマ3：野洲市民病院の整備等について

参加者からの主な意見 【○市民意見、●市回答】

○新病院の工事はいつ頃開始の予定か。何年もかかっており、個人的には早く建ててほしいと思っている。

→●本来は今年の1月の予定であったが、入札が不調となったため1年程度遅れる予定である。

○入札価格が12億円も開きが出たとのことであるが、こんなに差が出るものなのか。

→●県の入札でも起こっており、異例というわけではない。開きが大きくワンフロア程度削減しないといけなくなったが、前回の設計では現場の声があまり聞けていなかったのを、今回徹底的に聞いて再設計を行い、結果として良くなった部分もある。

→○以前の計画が素晴らしく、けんこうホールなど期待していた部分が無くなったのは残念である。市民に説明がいるのではないか。

→●素晴らしいものを作るには予算が必要となる。病院として必要な機能は譲れないため、けんこうホールは取りやめとなった。

○新聞報道では、常勤医師が少ない、病床の稼働率が低い等、悪いことばかりが載っており残念だった。

→●運営状況に問題があるのは事実である。常勤医師は病院の規模から見ると少なくないが、きちんと機能していないことに問題がある。市営の病院となりはじめて実態が分かった部分があり、それらも含めて全て公開している。建物は古くとも中身はきちんとした病院にしようと、体質改善を進めているところである。設計を見直して病床数を減らしたのも、今の実態から見ると減らしていいのではという結論に至り減らしている。

○技師も含め、レベルをあげてもらいたい。体質改善も徹底的に願います。

→●医師、看護師、技師、事務員といった医療チームの連携ができていない。先日も文書の取り違えがあり、公表したところであるが、悪いことも全部公開している。会議録なども公開している。ご意見をいただきながら進めていきたい。

●今、工事の落札の問題、引き継いだ病院をどう良くしていくのかという問題、2つの裁判にかかる経費や職員の仕事が増えているという問題、昨年11月に終わるはずであった旧御上会の精算がまだ終わっていないという問題の4つの問題を抱えているが、改善しようと頑張っているところである。ご期待いただきたい。

参加者からのその他の意見

○市民はもっと市政に関心を持ち、このような懇談会には積極的に参加すべきである。今日参加し、説明を聞くとよく分かった。市民あつての行政であり、行政あつての市民ではない。市民も熱心に取り組まないといけないと思う。